

第三中学校 特別支援学級 書写 「筆遣いから文字の上手な書き方を学ぼう」

授業のねらい

○毛筆を使用して、点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。

I C T 活用の工夫

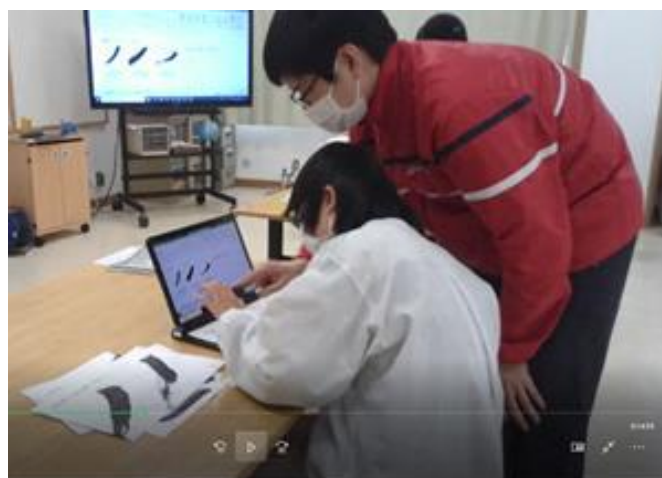
○漢字を構成する点画のうち、筆圧の調整を要する「左払い、右払い、はね」を中心に練習するが、タブレット端末を使って書き方に関する動画を繰り返し視聴しながら、基本の筆遣い等について確認する。

生徒の様子

○タブレット端末の動画を見ながら筆順を確認した後、毛筆で半紙に繰り返し練習した。

○タブレット端末の画面を使って指でなぞり、毛筆で半紙に書いたものとタブレット画面に書いたものの違いを確認した。

○もう一度半紙に戻り、毛筆で練習し、教員の助言を聞き成果を確認しながら、振り返りをした。



成果

○タブレット端末の動画視聴と、半紙に毛筆で書くという活動を組み合わせることで、生徒が意欲的に集中して書写に取り組むことができた。

課題

○筆を寝かせてしまう生徒もいるため、教員が筆の上を持ちながら共に書くことで筆圧のかけやすさが変わることを実感させるよう支援したが、共に書くことに頼りすぎることもあるため、生徒が自ら上手に書こうとする気持ちを育てていきたい。